



桜井知事は水稲早期栽培をしほしほ視察しました

そこで移転新築の話が持ちあがったのは昨年のこと。つまり総建坪一、七七〇坪、総工費六、三二万九千円で、三十四年度から三期工事で三十四年三月には完成させようとする計画がたてられたわけだ。

そして十月には期成会も結成され、募金が全県下に呼びかけられました。皆さんの御協力により募金は順調に、み

十一月三〇日現在で目標額四、一五七万円の八十五%、三、五六二万円に達しあと一息というところだ。

工事の方は三月に第一期工事、七棟五七六坪が完成して、既に種芸、病害虫化学、原種、園芸各農舎及び畜舎、堆肥倉庫など使用されており、十一月からは第二期工事（六七六坪）が始まられる。

又、八代郡鏡町の園芸指導所、園芸指導所の改築も九月に起工式を行い現在殆んど完成し、来年は新築分にとりかゝる事になつていきます。

募金の成績をみますと、目標額一〇〇%完納（ゴチック文字は超過）したところは（十一月三〇日現在）

- 八代郡 上益城郡 玉名郡
- 鹿本郡 芦北郡 水俣市
- 菊池郡 山鹿市 球磨郡
- 宇土郡 下益城郡

こうして、皆さんの御協力により新しい農業試験場が完成した際には、これが県の農業発展に非常な大きな力となるで

### 五〇周年を迎えた 県有林

約一万町歩という県有林にとつて、今年には記念すべき年でした。明治三十九年日露戦役の講和記念事業として、県が約一、五〇〇町歩の模範林をつくつたのが県有林のはじまりですが、それから満五〇年。

今では一三六カ所にわたつて、うつつたる県有林が、水源を養い、山崩れを防ぎ、県の大きな財産となつていますが、今年も三月には新しく一七六町歩を植付け、又、約七万二千石の伐採を行つて、その収入も約一億円程あつていま

県では五〇周年を記念して十月一日から上旬一杯、記念式典や功労者表彰式を行つたほか、現地でも山神祭や記念手入れ、記念展示即売会などを行つて県有林の将来を祝いました。

又同じく、林業関係の話題としては植樹祭の問題があります。

昭和三十三年春の「緑の週間」を期し阿蘇山上に両陛下を迎えて華々しく全国緑化大会の植樹祭を催そうという計画は全県民の熱望を背景に、県でも県議会や緑化推進委員会とともに全力をあげてその実現へ努力してきました。

これについては福岡、長崎、大分、鹿児島等の各県にも夫々希望があり、陳情合戦の形となつたため、中央当局でもその選定に迷い、一時最も有力を伝えられた本県も結局選に洩れて、大分県が両陛下をお迎えすることになりました。

### 1957年 県政行事表

1月4日	御用はじめ
11	新生活運動運営委員会
12	派米農業労働者壮行会
14	米国農業実習青年壮行会
17	派米農業労働者第二陣出発
28	営農指導者県大会
30	肢体不自由児「父母の会」発
2月2日	足
4	もみすり競技大会
5	県農試移転新築起工式
12	アジヤ善隣運動県本部創立総
13	会
14	B Mクラブ実績発表大会
15	新生活運動実績発表大会
16	市房県営発電推進球磨郡大会
23	(20日まで球磨郡内)
24	青年産振研究発表大会
25	保育事業研究大会
26	三〇周年記念健康保険の集い
27	阿蘇小国地区ジャージー導入
28	第一回阿蘇酪農塾開塾式
3月3日	緑の週間(7日まで)
4	冬期労働大学開講
5	計量協会発足
10	市房県営発電期成大会
14	熊本市母子福祉大会(以後各
15	地)
16	県外就職者壮行会
24	農事研究会、生活改善グルー
26	プ交換会
4月2日	鹿児島本線復線化期成会発足
3	九州知事会

## 民生福祉の一カ年

### 積極化する 県外就職対策

新規卒業者の就職対策は、一般の経済情勢に影響され、いろいろ困難性が伴っていますが、本県の場合、順調に就職率も上昇してきています。今年三月卒業した学生の場合をみますと、六月末現在では、中学校一〇〇%の六八七八名、高校六四・四%の二〇五五名となつており、近年増大しつつある就職希望者と比例して就職率も次第に高まつてきています。

県では、就職対策の一環として、学校や雇用主との協議会を開いたり、特に県外就職の機会を増大するために、駐在員を阪神や名古屋方面に派遣し就職開拓に努力していますが、さる十月には、桜井知事が大阪に向いて、本県出身の財界人と就職懇談会を開くなど、県外就職には万全の策が講ぜられています。

### 好成績の世帯更生運動

自立してゆく保護家庭

今年民生委員制度四十周年にちなみ県では、世帯更生運動の強力な推進をめざしてきましたが、そのための、要保護

### 世帯や要補導児童の一斉調査が行われ、世帯更生対策の一つの強い足場がきざれようとしています。

今年十一月現在の世帯更生率をみますと対象世帯一七、五三二、選定世帯三、一五〇でその中更生した世帯は一、六〇九となつており、更生率五二%という実績を示しています。

さる十一月に開催された社会福祉事業大会では、世帯更生対策が大きく取上げられ、特に、市町村社会福祉協議会が地域住民の社会福祉を強く推進する母体として、世帯更生活動をより活潑に展開しなければならぬ点が強調され、今後の新しい活動の基本線が確認されました。

社会福祉活動が正しく県民に密着し、相互扶助の場がより広く培われてゆくためには、市町村社会福祉協議会結成は早急な課題でもありました。県では全国的な動きの中で、かなり早くから、この地域社会福祉協議会の結成を考え、特に本年度はこれを重点施策の一つとして、

結成すゝむ市町村の 社会福祉協議会

社会福祉協議会が正しく県民に密着し、相互扶助の場がより広く培われてゆくためには、市町村社会福祉協議会結成は早急な課題でもありました。県では全国的な動きの中で、かなり早くから、この地域社会福祉協議会の結成を考え、特に本年度はこれを重点施策の一つとして、

### 遠洋漁業への進出 本県水産業の方向

水産業界にとつては、今年局面打開の年でした。沿岸漁業はここ数年來これ以上の伸びをみられなくなつたため「沿岸より沖合へ」の方針で遠洋漁業の試みがなされてきましたが、特に南西太平洋にマグロを追つて水揚高五、八〇〇貫(一五〇万円)という好成績を挙げ、六月富岡港に帰港した遠洋漁業試験指導船肥後丸は、本県水産業の前途に一つの希望を掲げたものと云えましょう。又、十一月には天草郡河浦町崎津では、長崎県と協定を結んで対島沖へイカ漁に出動するなど新しい試みでもありました。その他県の漁業取締船阿蘇丸の老朽化に伴い、工費三、三〇〇万円を以て新造船の計画も樹てられ、九月県議会の承認を得ましたので、明春早々着工され、八月には進水する予定になつています。

その他、産業面の話題としては、沖縄貿易の再開、果樹栽培の近代化を図る為

に十六カ所のモデル果樹園の指定や、其販態勢の整備強化の促進、或は現在伸び悩みの状況にある県産畜産の実態を分析してその打開を狙つた「熊本県における畜産業の現況と振興計画」の発表、農業

の研究資料と実績を残して、来年度の伸展を約束しています。

処で、忘れてならないのはこのように伸びつつある水稲早期栽培の陰の力となつて尽してきた県農業試験場の事でしょう。

### アト一息の募金成績 「県農試」の移転一部完了

この農業試験場の建物は、もう六〇年の古さで、とても新しい時代に適した試験研究を続けてゆくことが困難となつて

そこで、本県としては、明春に両陛下の御臨幸を仰ぎ御手植式を行い、これを契機として造林事業の推進を期することにしています。